

事務事業名	新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉	所属G	教育・保育グループ	課長名	石飛 和宏
施策名	〈25〉子育て支援の充実	担当者名	中西 章博	電話番号	40-1044
目的	対 A)子どもの保護者と産み育てたい夫婦 意 A)安心して子育てができる。 B)心身ともに健	予算科目	会計 款 大事業 大	(内線)	2251
対象	象 B)乳幼児・児童・生徒(0~18歳) 図 やかに育つ。	項 目 中事業 中	0:11502	事業名	新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金
基本事業名	〈072〉子育てと仕事の両立支援	業名	1:00574	中事	新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金
目的	対 保護者 意 子育てと仕事を両立できる。				

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R2 年度 ~ R3 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
児童福祉施設等(委託・私立施設)における感染拡大を防止し継続的な事業実施に向けた環境整備を図ることを目的に、マスクや消毒液等の衛生用品や感染防止のための備品購入等に係る費用の補助を行う。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R2年度実績(R2年度に行った主な活動) R2.11 交付申請・交付決定通知 R3.3 実績報告・確定通知	R3年度計画(R3年度に計画する主な活動) R3.4~R3.6 交付申請・交付決定通知 R4.3 実績報告・確定通知				
	② 活動指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
	ア 補助金交付件数	件			25	26
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
	児童福祉施設(委託・私立施設) 保育所、児童クラブ、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、病児病後児保育室	ア 補助対象施設数	箇所			25	26
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
	児童福祉施設等は、保護者の就労等により、家に一人であることができない年齢の子どもが利用するものであることから、このコロナ禍に於いても適切な感染防止対策を行った上での事業継続が求められている。	ア 感染症対策をした上で、事業継続した施設数(直営施設除く)	箇所			25	26
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(2年度決算)	② コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)
補助実績額10,840千円	財源内訳	千円			10,840	5,200
【財源内訳】 県支出金:10,840千円 (新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金)	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円				
	事業費計(A)	千円			10,840	5,200
	人件費	人			1	
	正規職員従事人数	人				
	延べ業務時間	時間			500	
	人件費計(B)	千円			2,104	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			12,944	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
令和2年の年頭頃から新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大し、令和2年3月には政府から学校等への全国一斉臨時休業要請があったが、児童福祉施設は仕事と子育ての両立の観点から継続開所が求められた。	令和2年8月 補助事業開始	コロナ禍ではあるが、仕事と子育ての両立支援として施設の開所を求められている。

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である *余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 理由	現状以上はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由	本補助金により、運営事業者における感染症対応力を底上げしつつ、継続的なサービス提供が可能となるように支援している。このコロナ禍においても継続的なサービス提供を求めている以上感染症対策経費の補助は必要である。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒(具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由	他に類似事業はない。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由	感染症対策経費が施設運営側の負担となり経営に影響を与えることになるので、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由	削減の余地はない
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由	市内の児童福祉施設すべてが申請対象である。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果 A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 児童福祉施設は、継続的なサービス提供が求められており、そのために不可欠な事業である。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	② 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
児童福祉施設は、継続的なサービス提供が求められており、そのために不可欠な事業である。																						